

21 豚ふん堆肥を原料にしたペレット肥料（株式会社ポークランド）

豚ふん

ペレット

広域流通

- 株式会社ポークランドは、散布作業の効率化を図るため従来の豚ふん堆肥のペレット化設備を導入。需要が伸びつつあるペレット堆肥の広域流通を図り、JA全農等の販売網を通じて供給量の拡大を図る。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

・豚ふん（100%）

- ・収穫王
- ・フジミ醗酵豚糞ペレット
- ・とん太くんペレット

■ 作物

- ・大豆・枝豆
- ・にんにく・ネギ
- ・玉ねぎ・稲作 等

■ 主成分の含有量（%）・特徴等

N	P	K	C/N比	水分
4.4%	8.9%	3.5%	3.6	34%

- ・銅 330mg/kg
- ・亜鉛 1100mg/kg
- ・石灰 6.7%

■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

- ・当農場では、豚特有の病原菌を持っていないSPF豚である桃豚を約15万頭生産。
- ・養豚を中心とした循環型農業への取り組みを開始し、豚ふんを発酵させた堆肥とBMW技術を活用し農薬や化学肥料を減らすことを目標に掲げる。

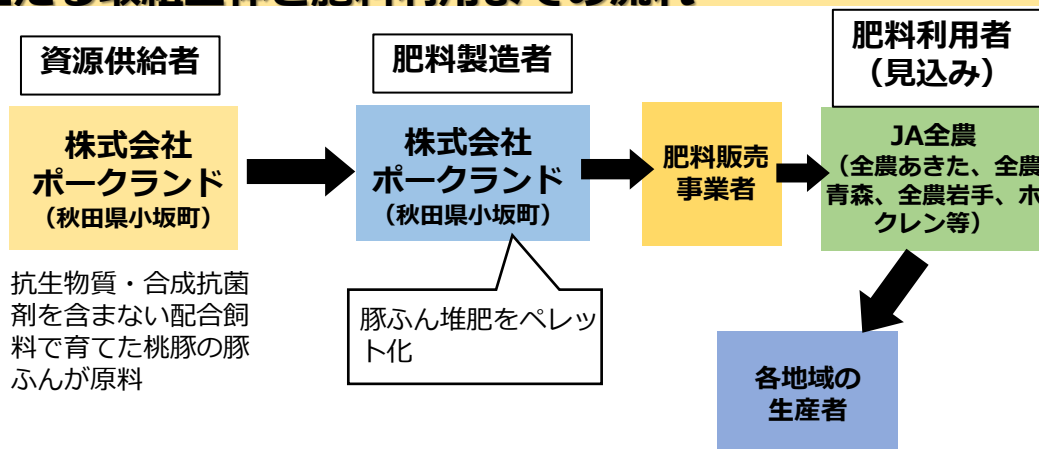
取組の内容

- ・自然浄化作用(BMW技術)で精製された生物活性水と、抗生物質・合成抗菌剤を含まない配合飼料で育てた豚から排出された糞で製造した堆肥を、農地に還元し地域循環・資源循環の確立に取り組む。
- ・県内から収穫された飼料用米を豚へ与える事により、自給率向上と飼料原料の海外依存度削減を目指す。

成果（見込み）

- ・ペレット化することで、広域流通しやすく、販売先を拡大している。
- ・ペレット化は5年前から行っており、年間800トン（2024年）販売していたが、年間販売量は1500トンほどに増加する見込み。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

- ・主要な肥料利用者である農家のほか、肥料メーカーを通じたJA等の販売事業者への更なる周知
- ・需要期に合わせた安定した供給体制の確立
- ・季節に左右されない製品品質の安定化
- ・広域流通による販路の拡大



(製品画像)



(散布時の画像)



(飼料用米ほ場)